



黒木の大藤

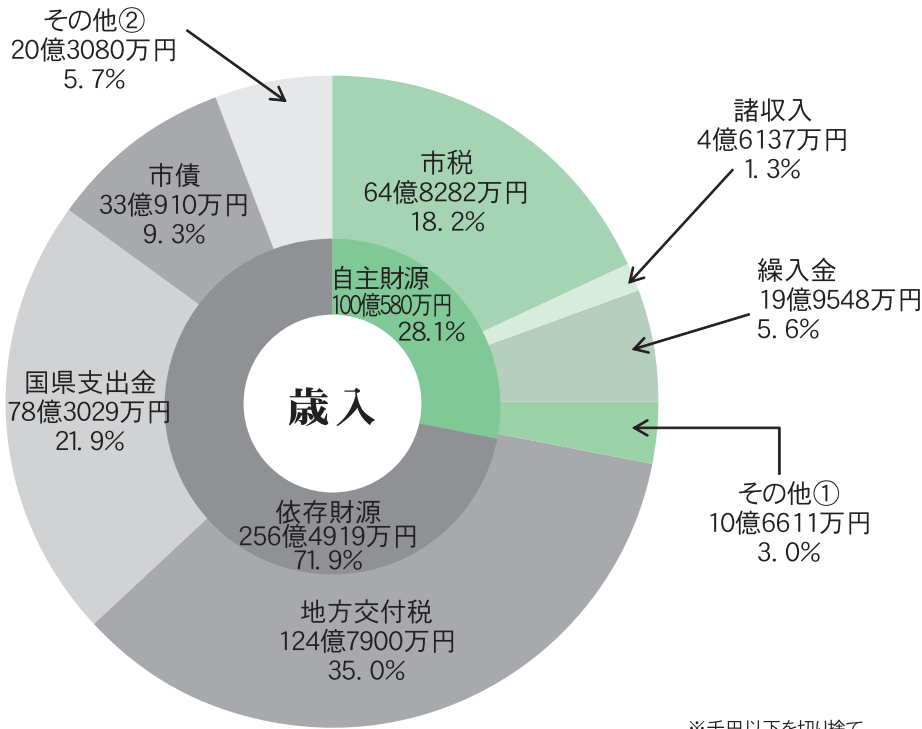
議会だより やめ

No.152 平成28年5月1日

- P 2 **移住定住対策などに重点** 28年度予算
- P 4 **28年度予算の主な新規事業は**
- P 5 **通院医療費の助成を小6まで拡大**
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問**10人**の議員が登壇

結婚・子育て支援に重点

5500万円の内訳



※千円以下を切り捨て

その他①・・・分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰越金、寄付金
 その他②・・・地方消費税交付金、地方譲与税、自動車取得税交付金、交通安全対策交付金、地方特例交付金、配当割交付金、ゴルフ場利用税交付金、利子割交付金、株式等譲渡所得割交付金

3月定例会を2月24日から3月16日までの22日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、総額356億5500万円の平成28年度一般会計当初予算案や子どもの通院医療費の助成対象を未就学児から小学6年まで拡大する条例改正案など46件で、いずれも原案とあり可決しました。予算は予算審査特別委員会を設置して審査しました。

歳入

歳入のうち、自主財源の柱となる市税は個人市民税及び固定資産税の増加などで前年度比1・5%増の64億8282万円。

依存財源（国・県などからの収入に依存する財源）の大きな割合を占める地方交付税は合併算定替え（注）に伴い10億円以上減り、同7・8%減の124億7900万円。

市債（借金）は同20・3%増の33億910万円で、増の主なものは過疎対策事業債等である。28年度末の市債残高は280億6184万円になる見込み。

（注）合併算定替え
 合併したことにより普通交付税が直ちに減少することは合併の阻害要因となることから、合併後5年（その後5年は段階的に縮減）は旧市町村が存続したものとみなして普通交付税を算定すること。（合算額を措置）

平成28年度 一般会計予算 移住定住対策や

当初予算案に対する主な質疑 ～予算審査特別委員会～

予算審査特別委員会（大坪久美子委員長、栗原吉平副委員長）は議長を除く25人の委員で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行いました。

問 マイホーム取得支援事業補助金は、固定資産税を免除するのか。

答 新築住宅の場合、軽減された固定資産税相当額を補助するもので年税額の完納を受けて支給する。

問 防犯カメラが増えるとのことだが、設置する学校はどこか。

答 岡山小学校、黒木小学校、南中学校を予定している。なお、福島小学校、長峰小学校、福島中学校には既に設置している。

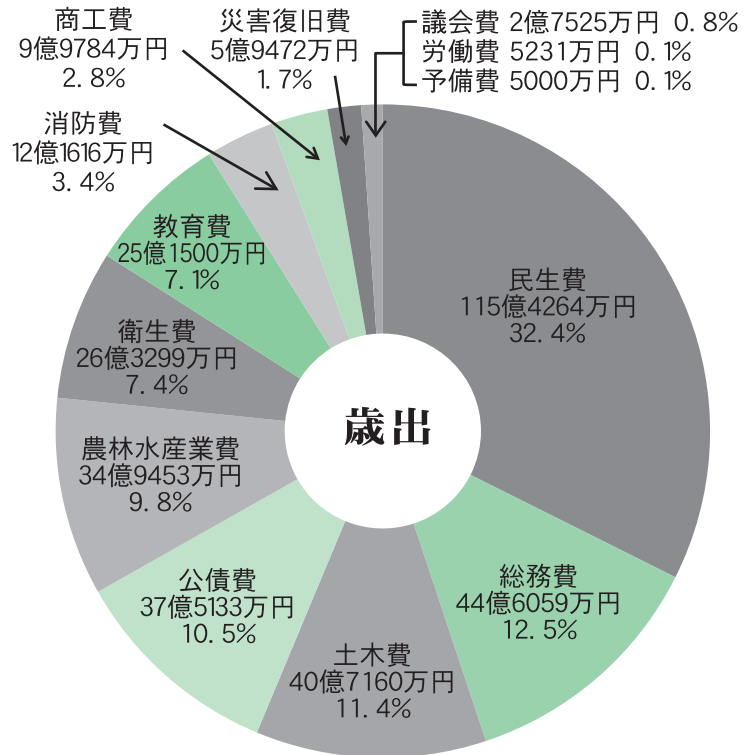
問 民生委員児童委員の業務量の増加によりその選出に苦労している地域がある。委員選出の方法また報酬と設置基準は。

答 まず行政区長に推薦依頼し、その後の選出経緯は、地域によって異なる。人口減少と高齢化により選出が困難な地域もあるので、民生委員児童委員や行政区長と見直しについて今後検討を続けていく。民生委員児童委員は厚生労働大臣から委嘱されたボランティアであるので基本的に無報酬である。ただし、活動謝礼として県と市からそれぞれ年間5万8700円が支給されている。定数は県の条例で定められ八女市の定数は203名で欠員はない。

問 農業後継者を育成する補助金の考え方については。

答 国の青年就農給付金などを活用しながら経営相談や資金相談などの支援を行っているので、国・県・市の補助事業のメニューの中から活用していただきたい。

総額356億



歳出

民生費は、平成27年度からスタートした子ども・子育て支援事業などにより前年度比2・7%増の115億4264万円。総務費は、星の文化館、茶の文化館の全面リニューアル事業などで、同2・3%増の44億6059万円。土木費は、九州北部豪雨災害の復旧工事に一定のめどが立ち、移住定住に視点を置いた道路等の生活インフラ整備のため同21・2%増の40億7160万円。今年度の主な新規事業については次ページ掲載。

第4次八女市総合計画や 八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく 28年度の主な新規事業は

マイホーム取得支援事業補助金 2000万円

市内に新たに住宅を取得した方に対し、取得費用の一部や固定資産税相当額を補助することで、定住及び転入を促進し、地域活性化を図る。

八女の森とまちによる循環型のまちづくり事業

2500万円

奥八女の地域資源と八女福島の伝統的建造物群保存地区の空き家等や遊休公共施設を活用し、新たな産業の開発・育成を実現するために、行政と市民・企業の間立ち、企業の新分野の事業化や人材・技術育成を支援する中間支援組織「地域商社」の設立を目指す。初年度は、地域資源の実態把握や地域資源を活用した商品開発・マーケティングの検討をするための調査事業を行う。

※27年度繰越事業

ものづくり推進事業補助 1000万円

市内の小規模事業者等におけるものづくりを推進するため、製造業において新商品の開発や製造に取り組む場合、専門家の派遣や共同開発及び新製品の製造に向けた機械器具等の導入に要する経費に対して、その一部を市補助金として交付し、市内におけるものづくりの推進を図る。

子どもの貧困対策推進事業 662万円

国は平成25年6月に子どもの貧困対策の推進に関する法律を制定し、翌年8月に子どもの貧困に関する大綱を定めた。これを受け、市においても子どもの貧困に関する調査を行い、今後の対策を推進する「子どもの貧困対策推進計画」を策定する。

結婚新生活支援事業費補助事業 3600万円

経済的理由で結婚に踏み出せない低所得者を対象に、新たに婚姻した世帯の新生活のスタートアップに係る費用（新居の住居費、引越費用）を支援する。※27年度繰越事業

八女東部スポーツ公園クラブハウス整備事業

1055万円

黒木町にある八女東部スポーツ公園（グリーンフィールド八女）の敷地内にサッカー利用者のロッカールームやシャワー室、トレーニング室等を備えたクラブハウスを整備するため、基本設計の業務委託を行う。

通院医療費の助成対象を 10月1日から小学6年まで拡大

八女市乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

福岡県のことも医療に対する助成が、本年10月1日から小学6年生まで拡大されることに伴い、八女市においても、通院の助成を小学6年生まで拡大しようとするもの。

問 条例に「通院に係る医療費のうち医療機関(薬局を除く)ごとに、1月につき1200円(ただし自己負担分相当額が1200円に満たない額)のときは、当該額は支給しない。」とあるが、例えば眼科、耳鼻科、歯科など違う医療機関を受診した場合は、それぞれの医療機関で1200円は支払う必要があるという理解でよいか。

答 その通りである。

問 例えば総合病院で受診した場合は、レセプト(診療報酬明細)ごとに支払うことになる。

問 中学生までではなく小学6年までとした大きな理由は。

答 福岡県のことも医療の助成拡大に伴うことごとが1番の理由である。今後については十分調査をしていきたい。

市営住宅の入居資格を緩和 市外からも入居可能に

八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

市営住宅の入居資格のひとつとして、市内に住居又は勤務場所を有する者であることとして規定がある。

今回、この要件を見直すことで、八女市へ転入を希望される方たちの入居を可能とし、流入人口を少しでも増加させるために必要な改正をするもの。

八女市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

蒲原住宅については、平成28年度より供用を開始することとし、老朽化団地の住み替え及び一般の入居者を募集するため、必要な改正をするもの。

蒲原住宅4月1日から 入居募集



厚生

審査の主なもの

- 平成27年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成27年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市一般会計予算 (賛成多数で可決)
- 平成28年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市介護保険事業費特別会計予算(全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市後期高齢者医療特別会計予算(全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市矢部診療所特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 八女市障害者差別解消支援地域協議会条例の制定について (全員賛成で可決)

総務文教

審査の主なもの

- 平成27年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
 - ・土木費 2500万円(八女の森とまちによる循環型のまちづくり事業)
- 平成28年度八女市一般会計予算 (賛成多数で可決)
 - ・総務費 2000万円(マイホーム取得支援事業補助金)
 - ・総務費 580万円(空き家等実態調査業務委託料)
 - ・教育費 1170万円(八女東部スポーツ公園クラブハウス整備事業)
- 八女市行政不服審査会条例の制定について (全員賛成で可決)
- 八女市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の制定について (賛成多数で可決)

不服申立て

八女市行政不服審査会 条例の制定について

問 情報公開に係る部分公開等の審査請求の際、情報公開・個人情報保護審査会の委員と行政不服審査会の委員が兼任であれば、審査結果は同じ結果となりはしないか。

答 情報公開・個人情報保護審査会は優れた識見を有する委員で構成される

た合議体で、公文書や個人情報等の非開示決定などに不服がある請求者からの申立てにより決定が適正だったかを審査するもの。行政不服審査会は、市が行う一般的な許認可などの決定に対する不服の申立てを審査するもの。

問 委員の構成は。

答 大学教授、弁護士、司法書士、市民代表2名。

問 今までの件数は。

答 情報公開2件、固定資産税価格関係4件で、実際に審理員を置き、第3者機関に諮問しなければならぬような不服申立ては、過去10年間はない。行政処分をする場合は、不服申立ての手続きに関する教示文を決定通知書に付している。

高齢者向け給付金を給付

年金生活者等支援臨時福祉給付金

問 申請しないと給付金3万円は受給できないが、受給漏れ等対策は。

答 給付対象者(平成27年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成29年3月31日までに65歳以上になる方)には、ダイレクトメールで通知する。

その他、広報誌、FM八

子宮頸がんワクチン接種

問 接種対象者、費用及び今後のスタンスは。

答 対象者500人に対し、接種者は平成28年1月末現在22人であった。接種

浄化槽設置整備事業

問 補助金減額となっているが原因は。

答 新築住宅件数の減少と既存住宅への設置がある程度進んだのが原因と考



議会の動き

2月

- 2日 定例全員協議会
建設経済常任委員会
厚生常任委員会
- 9日 筑後六市議会議員研修会(大川市)
- 17日 八女中部衛生施設事務組合議会
総務文教常任委員会
行政区長会と議会との意見交換会
- 19日 議会運営委員会
- 24日 平成28年第1回定例会(招集日)
全員協議会
- 25日 八女西部広域事務組合議会
県南広域水道企業団議会
- 26日 八女地区消防組合議会
- 29日 本会議(一般質問)~2日

3月

- 2日 本会議(一般質問・議案審議)
- 3日 過疎地域自立促進計画審査特別委員会
予算審査特別委員会全体会
議会だより編集委員会
- 7日 委員会・分科会
- 8日 委員会・分科会
- 9日 委員会・分科会
- 14日 予算審査特別委員会全体会
- 16日 平成28年第1回定例会(最終日)
全員協議会
議員定数等調査特別委員会
- 28日 公立八女総合病院企業団議会

4月

- 1日 全員協議会
- 7日 議会だより編集委員会
- 13日 厚生常任委員会
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 福岡県南議長会(宗像市)
- 20日 福岡県議長会(福津市)
総務文教常任委員会
- 27日 九州市議会議長会(熊本市)

建設経済

審査の主なもの

- 平成27年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市一般会計予算 (全員賛成で可決)
・バイオマス事業費 6272万円
- 平成28年度八女市簡易水道事業費特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市下水道事業特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市農業集落排水事業特別会計予算 (全員賛成で可決)
- 平成28年度八女市水道事業会計予算 (全員賛成で可決)

今年度も発行プレミアム付商品券

木質バイオマス発電事業 導入検討業務委託料

問 木質バイオマス発電事業導入についての現状と見通しはあるのか。

答 再生可能エネルギー導入可能性調査、小規模木質バイオマス発電における可能性調査を行っている。森林組合等では、チップ製造を実施し、県外の発電事業者などに納入している。発電事業には、チップの安定供給が大切だが、木

材を効率よく搬出できるシステムの構築とチップの供給価格が課題である。

問 プレミアム付商品券助成金

答 プレミアム付商品券の販売が発売から短期間で売れてしまい、時間的に余裕のある人しか買えないのは問題ではないか。購入できるよう、八女商工会議所や八女市商工会に協議していただく。

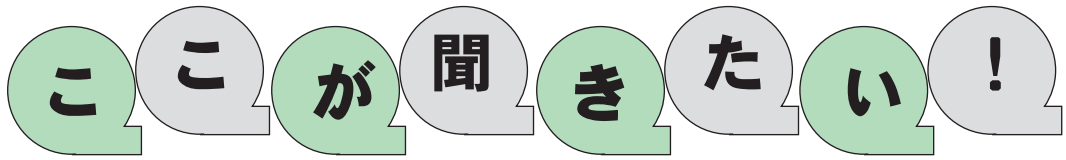
ものづくり推進事業補助

問 ものづくり推進事業補助金とはどんなものか。

答 市内の小規模事業者等における新たなものづくりを推進するもので、機械器具等の導入補助を予定している。



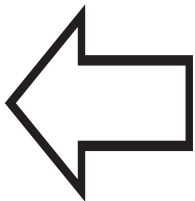
平成27年度発行券



一般質問

月 日	質問者	質問事項
2月29日 (月)	橋本 正敏	1 定住化促進のため、若者の起業(農業も含む)・就労における市の支援について
		2 空き家対策について
	樋口安癸次	1 道路改良について
		2 新庄交差点について
		3 トネルの看板について
		4 グラウンド整備について
	堤 康幸	1 暮らしの安全・安心について
	森 茂生	1 非正規市職員について
		2 医療費抑制について
	3月1日 (火)	樋口 良夫
2 碾茶製造 <small>てんちゃ</small> について		
3 お茶の活用とアピールについて		
小川 栄一		1 財政調整基金について
		2 市中心地域の都市計画について
		3 有害鳥獣対策について
三角 真弓		1 行財政改革について
		2 就労支援について
高橋 信広	1 健康寿命の延伸について	
3月2日 (水)	松崎 辰義	1 子どもの貧困について
		2 ゴミ対策について
		3 介護保険制度について
	牛島 孝之	1 コミュニティスクールに対する八女市の考えは。また平成28年度の教育方針の重点策は
		2 文化財保存事業について
		3 市職員に支払われる各種手当について

《一般質問の詳しい内容》



定住化促進のため、若い起業者に
対する支援はあるか



橋本正敏

答 開業時、借入資金の信用保証料や利子の補助制度がある

- 問** そのほかにあるのか。
答 平成27年度から、新規創業時、経費の2分の1で50万円限度の補助金がある。
- 問** 空き家バンクの利用について。
答 利用登録は134件、物件登録は49件。現在、契約交渉が可能な物件は12件である。
- 問** 補修が必要な物件が多いが、市からの援助はあるのか。
答 登録物件の改修は、改修費用の2分の1以内、上限30万円の補助がある。
- 問** インターシップによる学生等の受け入れはあるのか。
答 現在、トライアルウィークングフェスティバルでいる。平成28年度、移住定住・交流センター(仮称)

八女市空き家バンク取り組み状況

年度別実績(利用登録・物件登録・成約数・改修補助・転入件数)

年度	利用者登録数(件)	物件登録数(件)	成約数	空き家改修補助金利用件数	市外からの転入件数・人数		備考
					件数	人数	
平成23年度	20	21 (16+5)	4	—	1	1	平成23年12月1日より情報公開開始。 ※物件登録数は基調随時抽出した16件を含む。
平成24年度	28	6	1	1	0	0	空き家改修補助金スタート
平成25年度	29	5	4	1	3	5	平成25年5月より移住定住相談員(兼任職員)1名配置
平成26年度	36	7	9	4	6	13	平成26年10月より物件登録を八女市全域に拡大
平成27年度	21	10	5	5	3	5	
合計	134	49	23	11	13	24	

を設置予定し、今後研究しよう。

問 空き家対策について
答 近隣に迷惑で危険な空き家に関する市の対応はどうなっているのか。
答 「八女市空き家等審議会」(平成27年度は1回開催)を設置している。市民からの情報提供の後、市は、調査した上、助言・指導をし、勧告・公表、命令等を行うが、慎重対応で時間がかかる。

問 県道玉名八女線の八女農高の北山実習場から先の650mについてはどうなっているのか。
答 八女県土整備事務所が着実に進めている。



八女農業高等学校北山実習所入口

問 宮野地区改良はどうなっているか。
答 路線の早期完了に向けて進めている。

問 下柳瀬道路はどうなっているのか。
答 平成28年度の当初予算に計上している。



樋口安葵次

答 酒井田町内の市道43号線の6m改良はどうなっているのか
まずは予定している道路の早期完了を考えている

問 地元行政区の意見を十分聞きながら進めていく。
答 地元行政区の意見を十分聞きながら進めていく。
問 新庄の円形交差点はどうなっているのか。
答 地元住民の御協力をいただきながら、早期完了に向けて、県へ要望活動に努める。

問 玉名八女線のトンネルの看板はどこに設置するのか。
答 来年度の県道玉名八女線道路整備促進期成会の総会において協議し、決定していきたい。

問 三河小学校のグラウンドの暗梁整備はどうなっているのか。
答 平成28年度の当初予算に計上している。

暮らしの安全安心の基盤である道路の愛護を地域が持続できるためには



堤 康 幸

答 支援制度をつくったが、状況をみながら検討していく

問 携帯電話の不感地域の現状とその解消策について

答 不感地域の現状は、黒木、矢部、星野に各1地区で合計21世帯45人である。平成27年度までに不感地域解消を目標にしてきたが、事業者の採算面から基地局が設置されず解消できていない。

問 八女市は広大な森林面積を有している。林業振興のためにも、居住地以外の地域の不感解消が必要と思うが。

答 国・地方自治体・通信事業者が連携し、不感

問 地域をなくす取り組みを進めていく方針である。持続可能な道路愛護等への今後の方策は

答 2月末現在109件の実績報告があり、予算の執行は約45%程度。

問 道路河川愛護報償金の申請状況は。

答 平成27年度からの制度であり、今後様子を見て必要であれば再検討する。



路肩整備(市道尾道山口線)



森 茂 生

非正規職員の待遇改善を

答 賃金改善で正規職員との格差を縮小する

非正規職員について

問 3人世帯の生活保護費は年216万円。嘱託保育士の年間給与は220万円。フルタイムで働いても生活保護世帯並余りにも低過ぎるのでは。

答 非正規職員の待遇改善を、図らなければ雇用確保が難しくなる。市としても検討する。

問 人事院通知の見解は。

答 基本給、通勤手当は考慮しているが、期末手当は支給していない。

問 経験を考慮するなど待遇改善を考えるべきだと思つ。



医療費抑制について

問 差額ベッドについて厚労省が通知を出しているその内容は。

答 請求する場合本人の同意が必要。病院の都合によるもの、治療のため必要な場合等、徴収してはいけないことになっている。

問 よく説明せずに同意

答 書にサインを求めたり、同意しなければ入院出来ませんよと言ってサインさせている場合がある。再度通知を徹底させる必要があるのでは。

答 医師会と話す機会があるので、説明責任を果たすようお願いする。

八女伝統本玉露が、国の地理的表示保護制度に登録されたが、市の取り組みは



樋口良夫

答 地方創生加速化交付金を活用し、事業推進を図っていく



- 問** 今回の登録によって今後更に普及促進するところが、八女茶業、八女市浮揚につながるかと考えるが、行政としての具体的な取り組みは。
- 答** 高度技術の伝承や施設整備、生産指導をJA茶業部会や関係機関と連携し、生産性を高める総合的な支援に努める。
- 問** 販売戦略はどう取り組むのか。
- 答** GIマークを生かし、新たな販売ルートや富裕層への販売喚起、PR等高単価となる販売戦略を構築し、すべての品質のものには持続的に生産者への
- 問** 価格保証を設定したい。
- 答** 茶のくに八女・奥八女として「八女茶で乾杯条例」を制定する考えは。
- 問** 乾杯条例の制定を検討し、八女茶の消費拡大とブランドの普及に、全力で取り組む。
- 問** 玉露園の棚に用いるす巻きを製造する機械メーカーが全国に少なく今後の対策は。
- 答** 久留米工業大学と連携し、前向きに検討する。
- 問** 八女市立小中学校への給茶器配置は。
- 答** 本年度は小学校・中学校3校ずつ配置し、早めに関校に設置したい。

- 問** 保育料や給食費を無料にするのに使えないか。
- 答** それは個別の問題である。基金は、災害復旧、地方債の繰り上げ償還、その他不足を生じた時の財源である。
- 問** 福島地区の旧国道3号、旧442号が荒れているが対応は。
- 答** 早急な対策が必要であること認識しているが、通常の舗装補修では対応期間が短いため路盤改良を含んだ改善が必要だ。事業費が膨らむので国の補助での対応を図り早期改善に向けて進めたい。



小川栄一

- 問** 有害鳥獣対策で、相
- 答** 現在のインシシが捕獲されているが、ジビエ料理として地元産業に育てられないか。
- 答** 現在自家消費がほとんどである。一部民間個人施設で処理され、商工会議所が料理開発・販路
- 開拓に取り組んでいる。しかし、加工施設運営上の問題で地元産業として育てないのが現状だ。今後、猟友会、商工会議所などの意見を聞きながら研究していきたい。



福島地区の旧国道3号

答 平成26年度末で、117億4千万円、近隣で一番高い残高

財政調整基金の残高と使途、また近隣自治体の状況と比較は

28年度は人口減による普通交付税減額となるが行財政運営をどうやるか



三角 真弓

答 予算編成においては事業の必要性をゼロベースから検討

問 行政の透明性を高め効率化を進める観点から、人件費や物品購入費などを含めた全体のフルコストを把握する必要はないのか。社会保障の安定充実に二トへの就労の支援や非正規労働者、ひとり親家庭への支援も急ぐ必要があるのではないかと。社会保障の安定充実に二トへの就労の支援や非正規労働者、ひとり親家庭への支援も急ぐ必要があるのではないかと。社会保障の安定充実に二トへの就労の支援や非正規労働者、ひとり親家庭への支援も急ぐ必要があるのではないかと。

答 障がい者に対しては就労移行支援事業や、就労継続A型・B型事業等への支援を図る。ひとり親家庭に対しては、自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進費等への助成を推進・拡大。若者の、特に二ト、ひきこもりの方の支援に対しては生活困窮者自立支援制度を活用して相談を受け就労につなげていく。

問 女性や若者、障がい者等が活躍できる社会のよう努めていく。

就労支援について



高橋 信広

問 市民の健康づくりに対する、現状の取り組み・課題を踏まえ、平成28年度の基本的な考えと方針は。

答 市民一人一人の健康意識の向上と健康増進を目的にスポーツ健康づくり都市宣言を行い、健康づくりフェスタやチャレンジデー2016等を企画している。

問 胃がん検査として新たに胃力メラ検査が導入されるが、具体的にはどのような方法で行うのか

答 胃力メラ検査ができる医療機関の条件が非常に厳しいため、広川町・筑后市及び八女筑後医師会

と協議していくが、今後の検討課題となっている。

問 ピロリ菌検査について、検査方法を含め研究した上で、早期に導入してはどうか。

答 健康づくりフェスタの中で、まず取り入れて検診における導入については、もつしほらへの期間で十分な検討をしたい。

問 健康ポイント制などが推奨しているインセンティブ方を、八女市独自の内容で導入してはどうか。

答 健康づくりに対する無関心層に浸透しにくいという反省点があり、現段階では導入する予定はなく、当面は先進的な取り組みを見届けたい。

答 よく調査した上で、八女市独自で何ができるか検討したい

特定健診・がん検診の費用は、すべて八女市が負担してはどうか

平成26年度特定健診・三大がん検診の受診率実績

【単位：％】

八女市	目標値と自己負担額		特定健診	三大がん検診【目標；50】		
			【目標；60】	胃がん	大腸がん	肺がん
			500円	1,000円	500円	無料
受診率	男		27.8	10.5	14.2	14.9
	女		37.9	8.8	13.4	14.5
	合計		32.9	9.4	13.7	14.7

【注】がん検診の自己負担額；70才以上は全て無料

県は公民館などを使い貧困世帯の学習支援を考えているが市の考えは



松崎 辰義

答 そういった取り組みについても今後検討したい

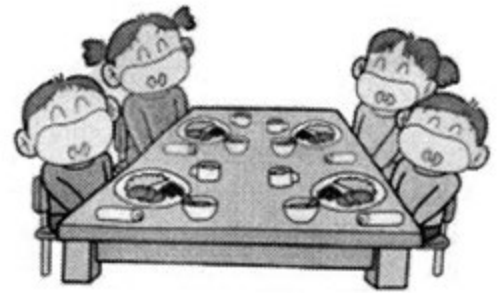
子どもの貧困について

問 子どもの貧困が大きな社会問題になってきているが八女市の対策は。

答 新年度に子どもの貧困に関する調査と貧困対策の推進計画を策定する。

問 県は貧困対策の一環として、コンビニで販売しなくなった消費期限前のパンや弁当、おにぎりなどを無償提供してもらいNPO法人を通して貧困世帯の子どもたちに届ける仕組みを創設するところがあるが、市としての対策はどう考えるのか。

答 八女市でも要望があれば手を挙げたい。



貧困解消には、スクールソーシャルワーカーの必要性が強調されているが市の考えは。

答 新年度は八女市専用のスクールソーシャルワーカーを考えている。

問 児童・生徒の準要保護の八女市の基準は。

答 生活保護基準の1.3倍である。

問 各自治体で基準が違うが1.5倍に見直すことはできないのか。

答 1.3倍も大きな問題だが、就学援助費の中で部活動手当があり、その事について研究したい。

コミュニティスクールについて

問 コミュニティスクールの定義は。

答 学校運営協議会制度を導入している学校のことである。

問 学校評議員制度との違いは。

答 学校評議員は、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べることができるといのが大きな目的で設置されている。大きな違いのひとつに教職員の人事に関する教育委員会等に意見を申すことができ、また学校運営についても意見を申すことができる。



牛島 孝之

田崎廣助生家跡の保存について八女市の考えは

答

市として建物の保存を行う立場にはない



立花庁舎の市民センターにある田崎廣助美術館

市職員に支払われる手当について

問 職員が各地域の道路愛護、あるいは河川清掃、イベントなどに出た場合に休日出勤とみなして手当が出るのか。

答 職員が住んでいる地域における道路愛護や河川清掃、あるいはイベント等は職員の職務とは関連がないので、休日勤務には該当しない。したがって手当あるいは代休措置等は一切ない。

3月定例会で審議した議案の結果

報告第1号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第2号	専決処分について(事故による損害賠償)	報告
議案第1号	専決処分について(八女市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承認
議案第2号	八女市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の規定の整備に関する条例の制定について	可決
議案第4号	八女市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第5号	八女市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第6号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第7号	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第8号	特別職の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第9号	八女市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第10号	八女市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第11号	八女市乳幼児・子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第12号	勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第13号	八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第14号	八女市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第15号	八女市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第16号	八女市行政不服審査会条例の制定について	可決
議案第17号	八女市障害者差別解消支援地域協議会条例の制定について	可決
議案第18号	八女市教育委員会の職務権限の特例に関する条例の制定について	可決
議案第19号	八女市東山地域ふれあいセンター条例等を廃止する条例の制定について	可決
議案第20号	八女市過疎地域自立促進計画の変更について(平成22年度～平成27年度)	可決
議案第21号	八女市過疎地域自立促進計画の策定について(平成28年度～平成32年度)	可決
議案第22号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第23号	権利の放棄について	可決
議案第24号	権利の放棄について	可決
議案第25号	平成27年度八女市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第26号	平成27年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第5号)	可決
議案第27号	平成27年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第28号	平成27年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第29号	平成27年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第30号	平成27年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第31号	平成27年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第32号	平成27年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第33号	平成27年度八女市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第34号	平成28年度八女市一般会計予算	可決
議案第35号	平成28年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第36号	平成28年度八女市簡易水道事業費特別会計予算	可決
議案第37号	平成28年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算	可決
議案第38号	平成28年度八女市下水道事業特別会計予算	可決
議案第39号	平成28年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第40号	平成28年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第41号	平成28年度八女市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第42号	平成28年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第43号	平成28年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第44号	平成28年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第45号	平成28年度八女市黒木町大淵財産区特別会計予算	可決
議案第46号	平成28年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第47号	八女西部広域事務組合を組織する市町村数の減少及び八女西部広域事務組合規約の変更について	可決
議案第48号	平成27年度八女市一般会計補正予算(第5号)	可決
議案第49号	平成27年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第50号	教育委員会委員の任命について《加藤 哲英》	同意
議案第51号	教育長の任命について《西島 民生》	同意
委員会提出議案第1号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
山の井用水組合議会議員の選挙	《池尻 律芳 坂田 孝一 國武 勲》《姫野二十三 原口 保夫 橋爪 徳雄》	
	《松崎 和則 嘉園 嘉利 大石 隆》	当選(指名推薦)
人権擁護委員候補者の推薦について	《中尾 信幸 引地 義治 小森 清実》	適任と認める

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html

議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。

どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

今回の熊本地震により被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。



～3月定例会～

議会を傍聴されたみなさんの声を一部ご紹介します。

(原文のまま記載)

◆子どもの貧困について：八女市の将来を担っていく子どもの問題についてはとても重要な問題だと思っています。来年度予算化され実態調査が実施されるとのことですが、市民の一人としてまずは自分にもできる小さな取り組みから始めていきたいと思っています。今後具体的な計画が立てられていくと思いますが、一日も早い実施をお願いしたいと思います。

(60歳代女性：市外在住八女市勤務)

◆仕事をしている人は昼間なかなか傍聴のチャンスがない。夜の議会も定期的に開催してほしい。特に18歳からの選挙の実施に伴って若い世代への傍聴呼びかけも努力してほしい。(60歳代女性：八女地区)

次回定例会

6月3日(金)

予定

午前10時～立花庁舎議場

編集後記

人と人工頭脳の戦いにおいて、最後の砦と言われた囲碁も人工頭脳に敗れることになりました。「コンピューターはいつまで人を超えるのでしょうか。優秀な人のことを一から十まで知っている。あるいは一から十まで出来る。」と、全てのことを一から十までと例えることがありますが、人工頭脳も一から十まで出来る優秀な頭脳という「コンピュータ」。

ある書物の一文について記されてありました。「一から十までとは横と縦を合わせて十になり、全てという意味」とありました。「しかし、それは天才ではない。天才の才は、横縦に斜めが加わり、才の字になる」とありました。

昨今、個性や癖をややもずる異質にしろ、封印されるものが多にあってあるような気がします。しかし、これからの世の中で

は、その斜めの部分、才能になりえる個性を伸ばす教育や人材育成が重要になるような気がしてなりません。その斜め部分が人工頭脳がどうしても入り込めない領域ではないでしょうか。

服部良一

発行責任者

議長 川口 誠二

議会だより編集委員会

委員長 田中 栄一

副委員長 堤 康幸

委員 松崎 辰義

委員 大坪 久美子

委員 中島 信二

委員 服部 良一

委員 伊井 渡

委員 高橋 信広

委員 橋本 正敏

